

区政会議で特にご意見を求める内容に対する委員からのご意見及び区役所の対応・考え方(令和6年度第3回)

5

番号	部会・全体会	担当課	ご意見を求める内容	参考資料と頁	委員からのご意見	区役所の対応・考え方
1	こども青少年部会	保健・子育て支援担当	<p>・全国的に不登校の増加が顕著であり、大阪市でも年々増加しているのが現状であり、港区もまた同様です。</p> <p>・不登校支援として、学校、教育委員会、区役所、地域、民間団体等において、様々な事業が行われています。</p> <p>・しかし、不登校の子どもの保護者への支援については、かつて「こどもたちの笑顔をつなぐ会」が区と連携して「不登校の子どもをもつ親の集まり『サロン de ゆるり』」を開設されていましたが、コロナ禍以降休止に至っており、この外、こうした不登校への保護者支援について、現在、区役所として把握していない状況です。</p> <p>・委員の皆様がご存じの区内での保護者支援の取組事例や、「このようなものがあればいいのでは」といったご意見をいただけますでしょうか。</p>	<p>【資料C-1】大阪市における不登校への対応等(教育委員会会議資料抜粋) 【資料C-2】港区役所等における不登校支援の取組み 【資料C-3】不登校支援にかかる保護者支援の取組事例(H29年度チラシ)</p>	<p>区内および近隣における不登校児童の居場所の誰でも分かるサイト等は作られているのでしょうか?無ければ、当人やその周りの人が分かる居場所MAPのようなものを作ったら如何でしょうか?</p> <p>根本的な質問ですが、ゆるりの例が挙げられていますが、何故区は把握できていないのでしょうか?</p> <p>6年度の取り組みなどが資料としてありますが、実績及び成果、現時点での評価としては及第点なのか何か問題があると感じていることはあるのでしょうか?</p> <p>港区内にあるNPO法人に時々出入りしているので子ども達が不登校になる思いや抱えているそれぞれの問題をリアルに当事者から聞く機会があります。</p> <p>事情の中には子ども達が不登校になる原因に親のネグレクトや鬱病、貧困、離婚、虐待、薬づけ(麻薬)など子どもにだけ注目するのではなく親や犯罪などの関係性も考え地域、行政のネットワーク作りが必要と考えます。</p> <p>不登校の子ども達向けにフリースクール的な場所(例えば専門学校のような証がもらえるアニメやゲームクリエイターになるための学びの場など)を無料で提供しつつ、生活に必要な要素の勉強もしてもらいやる気や一般的の学校を卒業していなくても就職に活かせる道をつけていけるような取り組みをすべきだと思う。</p> <p>行かない行きたくない学校に行かせるのではなく、子ども達が興味を持っているような学科を増やし、行きたくなるようは場所を作る。親に問題があるなら、施設という感じとは違う、寮生活として捉えられるボーリスカウトのようなスタイルで楽しく学び、就職が出来るような子ども達を受け入れるセーフティネットを考えて欲しい。</p>	<p>・区内のこども食堂や学習支援、子どもの居場所等の情報を掲載した「みんなの居場所マップ」は、区社会福祉協議会HPで公開しています。</p> <p>・なお、現在改定作業中につき、改定しましたら区社会福祉協議会HPでアップする予定です。</p> <p>・「不登校のこどもをもつ親の集まり『サロン de ゆるり』」は区が実施した事業ではなく、その後も現在に至るまで区が実施した不登校の保護者を対象とした事業はありません。</p> <p>・また、不登校の子供の保護者と対象とした事業について、区から調査を行ったことはありません。</p> <p>・そこで今般、各委員からのご意見をお伺いし、今後の施策に反映してまいりたいと考えているところです。</p> <p>・事前配付資料の資料C-1及びC-2には、区実施事業だけでなく、教育委員会実施事業、こども相談センターを含めたこども青少年局実施事業を含め、包括的にお示ししているところです。</p> <p>・そのため、次の3点の理由により、区としての現時点の評価は困難となっています。</p> <p>①区としては、実施主体でない事業の評価をする立場がない ②市が実施している各種事業はR6年度から実施しているものが多いため、現時点で評価できない ③区単位や学校単位での不登校の状況について、公表されている統計データが存在しない</p> <p>・一方、区実施事業については、学校からは有効との評価や継続実施を求める声を伺っています。</p> <p>・保護者を含めた相談事業は既に実施していること、児童生徒向けの施策は数多い中、「保護者」を焦点とした施策が少ないことを踏まえ、各委員がお持ちの地域情報や知見をもとに、保護者支援に対するご意見をいただければと存じます。</p> <p>・不登校の子ども達が抱えている複雑な問題に対して、ご自身の体験に基づく貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>・不登校の原因は多様ですが、その中でも家庭環境や保護者の影響について課題認識しているところです。</p> <p>・そのため、不登校の子どもだけに焦点を当てるのではなく、保護者支援についても検討してまいりたいと考えています。</p>